

令和4年度 公立学校教員採用候補者選考試験問題

一般教養
教職教養

1 / 13 枚中

注意 答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。

第1問題 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

出典：稲垣栄洋「植物はなぜ動かないのか 弱くて強い植物のはなし」(筑摩書房)

問 本文の内容および表現についての説明として誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

1

- ① 六億年も昔になると、私たち脊椎動物の祖先と、昆虫たち節足動物の祖先は共通であり、辿って行けば、植物も、私たちと同じ祖先を持つ親戚のようなものである。
- ② 植物と人間は親戚どうしとは言っても、植物と人間の生き方はあまりにかけ離れている。植物は動物のように動き回ることなく、地面にはった根から水や養分を吸い、光を浴びることで生きているのである。
- ③ 植物が植物たるゆえんは、細胞の中に葉緑体があり、光合成を行うことにある。その葉緑体は、細胞の中で自ら増殖し、他の大きな単細胞生物に取り込まれて共生し、細胞内器官になったと考えられている。
- ④ 植物細胞は、祖先も動き回らず何らかの方法で他の生物を捕えて食べていたが、光合成を行う葉緑体を手に入れたことによって、地面に根をはることができ、動かなくてもよくなったのである。
- ⑤ 動物と植物はまったく相容れない別の生物であると言い切れない。鞭毛を持ち動き回り、葉緑体となるバクテリアと共生しているミドリムシは、植物の性質と動物の性質を併せ持っている。

第2問題 次の和歌は、「小倉百人一首」のものである。それぞれの和歌の中で使われている技法として誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

2

- | | | |
|--------------------------------|--------|------|
| ① あしひきの山鳥の尾のしだり尾の長々し夜をひとりかも寝む | 柿本人麻呂 | — 序詞 |
| ② しのぶれど色に出でにけり我が恋はものや思ふと人の問ふまで | 平兼盛 | — 歌枕 |
| ③ 我が庵は都の辰巳しかぞ住む世をうち山と人はいふなり | 喜撰法師 | — 掛詞 |
| ④ ちはやぶる神代も聞かず竜田川唐紅に水くくるとは | 在原業平朝臣 | — 枕詞 |
| ⑤ このたびは幣もととりあへずたむけ山紅葉の錦神のまにまに | 菅原道真 | — 縁語 |

第3問題 元が東アジアで支配域を拡大し、日本侵略を企図した13世紀において世界で起こっていた出来事として誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

3

- ① モンゴルでは、勢力を伸ばしたテムジンがハンの位につき、ヨーロッパから中国まで広がる大帝国の基礎をつくった。
- ② ヨーロッパでは、第4回～第7回の十字軍が派遣されたが、コンスタンティノープルを占領したにとどまり、フランスの少年十字軍が悲劇的結末を迎えるなど、聖地回復の目的を達成するにはほど遠かった。
- ③ イギリスでは、フランスでの敗戦やローマ教皇からの破門など、権威を失ったジョン王に対して、貴族が大憲章（マグナ・カルタ）を認めさせた。
- ④ フランスでは、フィリップ2世、ルイ9世、フィリップ4世が勢力を広げて、教皇や諸外国をおさえて王権の強化を進めた。
- ⑤ 朝鮮半島では、倭寇を破って名声を高めた李成桂が高麗を滅ぼして、朝鮮を建国した。

第4問題 日本の経済の主体について述べたものとして誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

4

- ① 家計は、政府や企業に労働力を提供する代わりに、給与を受け取っている。
- ② 政府は、家計から租税を受け取る代わりに、社会保障を提供する。
- ③ 企業は、家計から投資を受ける代わりに、配当や利子を支払う。
- ④ 企業は、労働条件の決定に際して、雇用者として選考を通じて労働者よりも優位に立つことが認められている。
- ⑤ 政府が行う租税の徴収や社会保障は、家計での所得格差を和らげる役割を担っている。

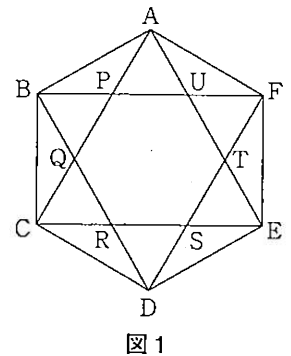
第5問題 ある集会に集まった子どもたちに、用意した色紙を配ることにした。1人7枚ずつ配ると58枚たりなく、1人5枚ずつ配ると26枚あまった。このとき用意した色紙の枚数として正しいものを①～⑤から一つ選べ。

5

- ① 106 枚
- ② 170 枚
- ③ 184 枚
- ④ 236 枚
- ⑤ 352 枚

第6問題 図1のように、正六角形ABCDEFにおいて、各頂点から向かい合わない頂点との対角線をかき、それぞれの対角線の交点を頂点とする正六角形PQRSTUをつくる。正六角形ABCDEFの1辺の長さが1であるとき、正六角形PQRSTUの1辺の長さとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

6



- ① $\frac{\sqrt{3}}{6}$
- ② $\frac{\sqrt{3}}{4}$
- ③ $\frac{\sqrt{3}}{3}$
- ④ $\frac{\sqrt{3}}{2}$
- ⑤ $\frac{\sqrt{2}}{2}$

第7問題 次の図2のような装置を用いて、赤ワインを加熱する実験を行った。、にあてはまる語句の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

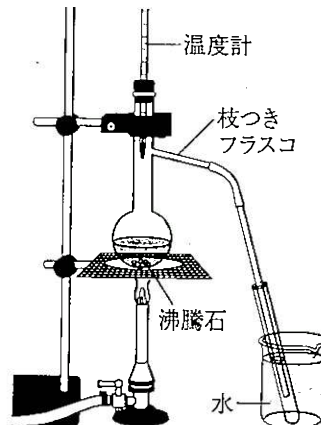


図2

(1) 次の3つの物質のうち、「純粋な物質 (純物質)」は、である。

・炭酸水 ・ドライアイス ・塩化ナトリウム水溶液

(2) 液体を沸騰させて気体にし、出てくる蒸気 (気体) を冷やして再び液体にして集める方法を、という。

・沸騰 ・蒸留 ・再結晶

- | ア | イ |
|--------------|-----|
| ① 炭酸水 | 沸騰 |
| ② ドライアイス | 蒸留 |
| ③ ドライアイス | 再結晶 |
| ④ 塩化ナトリウム水溶液 | 蒸留 |
| ⑤ 塩化ナトリウム水溶液 | 再結晶 |

第8問題 次の表1は、イヌワラビ、マツ、ユリ、アサガオの特徴を表したものである。A～Dにあてはまる植物の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

8

表1

植物	ふえ方	子房の有無	子葉の数	根の様子
A	種子でふえる	胚珠はむき出し		
B	種子でふえる	胚珠は子房の中	1枚	ひげ根
C	種子でふえる	胚珠は子房の中	2枚	主根と側根
D	胞子でふえる			

- | | | | |
|---------|------|-------|-------|
| A | B | C | D |
| ① イヌワラビ | ユリ | アサガオ | マツ |
| ② マツ | ユリ | アサガオ | イヌワラビ |
| ③ マツ | ユリ | イヌワラビ | アサガオ |
| ④ マツ | アサガオ | ユリ | イヌワラビ |
| ⑤ イヌワラビ | アサガオ | ユリ | マツ |

第9問題 次の会話は小学校の先生（HRT）と外国語指導助手（ALT）の会話である。下線部の語句を正しく並べかえると、その順序として正しいものを①～⑤から一つ選べ。

9

ALT: How (ア in / イ teaching / ウ the students / エ math / オ about / カ English) ?

HRT: That's a great idea! They just learned numbers last week. How do you say "1 + 1 = 2 (ichi-tasu-ichi-wa-ni)" in English?

ALT: We say "One plus one is two," in elementary school.

HRT: Oh, really? Let them try plus, minus, and...

ALT: We use "times" for multiplication and "divided" for division.

HRT: I wonder if the students can remember them?

ALT: Oh, they can say, plus, minus, times, and divided.

- ① ウ→イ→ア→カ→オ→エ
- ② ウ→イ→ア→カ→エ→オ
- ③ オ→イ→ア→カ→エ→ウ
- ④ オ→イ→ウ→エ→ア→カ
- ⑤ オ→イ→エ→ウ→ア→カ

第10問題 次の英文を読んで、本文の内容として正しいものを①～⑤から一つ選べ。

10

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① デンマークでは所得に応じて医療費が免除される。
- ② デンマークでは小学校から大学までの教育費が無償である。
- ③ デンマークでは失業したら新しい仕事を提供される。
- ④ デンマーク人たちは税額が高額であることに不満である。
- ⑤ デンマーク人たちは所得向上にむけて、団結して政府に交渉している。

第11問題 次のア～ウは、評価理論について述べたものである。正しいものを○、誤っているものを×としたときの組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

11

- ア 被評価者の内部に存在する評価基準によって、その個人を解釈するような評価手法を個人内評価といい、個人の成長などを解釈することを主眼とする。
- イ 教育目標に応じた成果が得られているかについて、指導の途中で把握するための評価手法を形成的評価といい、その結果をそれ以降の指導計画に活用することを主眼とする。
- ウ 評価対象である個人が属する集団の構成員のデータに基づいて設定される集団基準を用いて、ある個人を評価するような評価手法を絶対評価といい、その判断過程に評価者の主観が入り込みにくいという特徴を持つ。

- | | ア | イ | ウ |
|---|---|---|---|
| ① | ○ | ○ | ○ |
| ② | ○ | ○ | × |
| ③ | ○ | × | ○ |
| ④ | × | ○ | × |
| ⑤ | × | × | ○ |

第12問題 次のア、イで説明されている学習指導法の名称の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

12

ア 大集団を6人ずつの小グループに分け、その成員が6分間自由に意見・考えを発表して討議する。特徴は、特別の結論を導き出すところではなく、各人が自由に意見を述べつつ、全員が討議に参加し、一人では思いつかない異質の考えや視点、またユニークな発想などに啓発されながら、集団思考を高めるところにある。

イ (1) 集団を5、6人の小グループ(A)に分ける。(2) 教材(学習内容)を1グループの人数と同数に分割する。(3) 教材を一人ひとりが分担する。(4) 各小グループ(A)の同じ教材を分担している者同士で新たな小グループ(B)を作る。(5) (B)のグループで学習した後、(A)のグループに戻り、自己の習得した内容を成員間で互いに教え合う。

ア

イ

- | | |
|----------|---------|
| ① ジグソー学習 | バス学習 |
| ② 発見学習 | ジグソー学習 |
| ③ バス学習 | プログラム学習 |
| ④ バス学習 | ジグソー学習 |
| ⑤ 発見学習 | プログラム学習 |

第13問題 学習指導要領(小・中学校平成29年告示、高等学校平成30年告示)の「第1章 総則」では、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」のために配慮すべき事項が示されている。その事項の内容として誤っているものを①～⑤から一つ選べ。なお、文中の「児童」は中・高等学校においては「生徒」、「各教科等」は高等学校においては「各教科・科目等」、「総合的な学習の時間」は高等学校においては「総合的な探究の時間」と表記されている。

13

- ① 児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。
- ② 言語能力の育成を図るため、各学校において必要な言語環境を整えとともに、総合的な学習の時間を要としつつ各教科等の特質に応じて、児童の言語活動を充実すること。
- ③ 情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること。
- ④ 児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、計画的に取り入れるように工夫すること。
- ⑤ 児童が生命の有限性や自然の大切さ、主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働することの重要性などを実感しながら理解することができるよう、各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ体系的・継続的に実施できるよう工夫すること。

第14問題 「しまね教育魅力化ビジョン 令和2年度～令和6年度」（令和2年3月 島根県教育委員会）では、家庭・地域と連携・協働した学校教育の展開の中で、就学前から高等学校段階までの間に育むべき目標を、

（学力を育む）自ら課題や展望を見いだし、粘り強く挑戦し学ぶ人
（社会力を育む）人とかかわりやつながりを大切にし、新たな社会を創造する人
（人間力を育む）自然や文化を愛し、自他を共に大切にすべく強い人

の項目ごとに、発達段階に応じて示している。

A～Fは、発達の段階における育むべき目標である。中学校・中学部の段階における「人間力を育む」目標の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

14

- A 返事やあいさつ、時間や約束を守る等の、場や状況に応じたふるまいが意識的にできるようにする。
- B 職場体験やボランティア活動等を通して、勤労観・職業観を高め、助け合って生きる喜びを体感できるようにする。
- C 自分の好きなもの、大切なものをもち、自分を信じる心を育む。
- D 実生活、地域・社会や将来とかかわりを通して、学ぶ目的や意義を理解し、学ぶ意欲を高める。
- E 異なる文化や考え方への関心を高め、自分の世界を広げようとする態度を育む。
- F 様々な実体験の積み重ね（成功・失敗・挫折など）を通して、学び続けていく力の基盤となる集中力、持続力、柔軟性を育む。

- ① B E
- ② B D
- ③ C E
- ④ A D
- ⑤ A F

第15問題 次の文は、「しまねの学力育成推進プラン（令和3年度～令和6年度）」（令和3年3月策定 島根県教育委員会）の「Ⅲ推進プランの概要」に示された「1基本的な考え方」の一部である。ア、イにあてはまる語句の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

15

学校における授業づくりにおいては、教科等の特質に応じICTを有効に活用しながら「ア」の成果を「イ」に生かし、更にその成果を「ア」に還元するなど、「ア」と「イ」を一体的に充実させていきます。

- | | ア | イ |
|---|--------------|--------|
| ① | 個別最適な学び | 探究的な学び |
| ② | 主体的・対話的で深い学び | 探究的な学び |
| ③ | 個別最適な学び | 協働的な学び |
| ④ | 主体的・対話的で深い学び | 協働的な学び |
| ⑤ | 個別最適な学び | 主体的な学び |

第16問題 文部科学省は「小学校 キャリア教育の手引き <改訂版>」(平成23年5月)で「キャリア教育とは何か」について説明している。その中での「キャリア教育」についての説明として誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

16

- ① 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育である。
- ② 必ずしも新しい教育活動を指すものではなく、体験活動を重視し職場体験活動の実施をもってキャリア教育を行ったものとみなす。
- ③ 人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自分の役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねの総体が、「キャリア」である。
- ④ 「働くこと」については、職業生活以外にも家事や学校での係活動、あるいは、ボランティア活動など多様な活動があることなどから、個人がその学校生活、職業生活、家庭生活、市民生活等の生活の中で経験する様々な立場や役割を遂行する活動として、幅広くとらえる必要がある。
- ⑤ 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を「キャリア発達」という。

第17問題 小学校学習指導要領解説総則編(平成29年)では、学校図書館は学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であると位置づけられ、その有する機能について3つ述べられている。その3つの機能の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。なお、中学校・高等学校の当該箇所では、「児童」は「生徒」と表記されている。

17

- ア 児童の創造力を培い、学習に対する興味・関心等を呼び起こし、豊かな心や人間性、教養、創造力等を育む自由な読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能。
- イ 児童が言語を使用して対話を深め、また協働的に学習活動に取り組むことを通じて、児童の言語活動の充実を図る「コミュニケーションセンター」としての機能。
- ウ 児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を自主的・効果的に収集して活用できるよう、情報機器の操作に習熟する「ICTセンター」としての機能。
- エ 児童の自主的・自発的かつ協働的な学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする「学習センター」としての機能。
- オ 児童や教職員の情報ニーズに対応したり、児童の情報の収集・選択・活用能力を育成したりする「情報センター」としての機能。

- ① ア イ ウ
- ② ア イ エ
- ③ ウ エ オ
- ④ イ ウ エ
- ⑤ ア エ オ

第18問題 次の文章は、「人権教育指導資料第2集 しまねがめざす人権教育（学校教育編）」（平成27年3月 島根県教育委員会）における「進路保障」の理念に立った生徒指導」についての記述である。[ア]～[ウ]にA～Fの語句を入れるとき、組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

18

暴力行為や[ア]等の問題は重大な[イ]侵害であり、関係する子どもたちの置かれている状況や心の動きを理解しながら、[ウ]に向けて取り組む必要があります。学校として、まずは被害を受けた子どもの[イ]を守る姿勢を示すことが重要です。そして、問題を起こした子どもに対しては、その子どもの抱える問題等への理解を深めつつ、問題発生に至った背景・要因を多面的に分析することによって[ウ]に向けての明確な方針を持ち、二度と同じ過ちを起こさないよう、「進路保障」の理念に立った取組を行うことが重要です。

学校で[ア]が生起する背景には、積極的な生徒指導の取組であるいわゆる「居場所づくり」や「絆づくり」の働きかけが不十分であったり、学校生活でのストレスが要因となったりしている場合があります。[ア]の未然防止の観点から、こうした実態の改善を図ることが大切です。それは、子どもたち一人一人にとって、また、学級や学年、学校全体といった集団にとっても、学校生活を有意義で充実したものにし、学びの保障につながります。

A 不登校 B いじめ C 人権 D 生存権 E 合意形成 F 問題解決

- ア イ ウ
- ① A D F
- ② B D E
- ③ B C F
- ④ A C E
- ⑤ B C E

第19問題 学習指導要領解説総則編（小・中学校平成29年、高等学校平成30年）では、「学習評価の妥当性や信頼性が高められる」ための取組としていくつかの事例が示されているが、示されていない事例を①～⑤から一つ選べ。

19

- ① 評価規準や評価方法等について明確にすること。
- ② 評価に関する実践事例を蓄積して共有していくこと。
- ③ 評価に係る教師の力量の向上を図ること。
- ④ 児童・生徒に「目標」を明確に示し「課題」を正しく把握させること。
- ⑤ 保護者に評価に関する情報を積極的に提供して理解を図ること。

第20問題 次の文は、「しまね特別支援教育魅力化ビジョン」（令和3年2月 島根県教育委員会）に記載されている特別支援学校の現状と課題についての記述の一部である。□ア□～□ウ□にA～Fの語句を入れるとき、組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

20

① 特別支援学校の在籍者数は□ア□をピークとして横ばい傾向となっていますが、小学校、中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒は増加しており、今後、□イ□の増加が見込まれます。また、幼児児童生徒の障がいの多様化が進んでいます。

（中略）

④ 気管内喀痰吸引や人工呼吸器の使用など、医療依存度の高い幼児児童生徒が特別支援学校に通学するケースが増えており、より安全・安心な□ウ□の体制を整備する必要があります。

（後略）

- A 平成23年度 B 平成29年度 C 通級指導教室 D 知的障がい特別支援学校高等部
E 医療的ケア F 医療職充足

ア イ ウ

- ① A C E
② A C F
③ B D E
④ B D F
⑤ A D F

第21問題 次の文は、文部科学省が設置した「教育相談等に関する調査研究協力者会議」が取りまとめた「児童生徒の教育相談の充実について（報告）」（平成29年1月）第2章に記載された、今後の教育相談体制の在り方に関する記述である。誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

21

- ① 不登校、いじめや暴力行為等問題行動、児童虐待等の件数は増加傾向にあり、特に、不登校対応件数は大幅に増加している。
- ② 相対的貧困率も依然として高い傾向にある状況において、心理的、経済的に困難を抱えている児童生徒が増加している。
- ③ これまでの教育相談は、どちらかといえば事後の個別対応に重点が置かれていたが、今後、不登校、いじめ等については、事案が発生してからのみではなく、未然防止、早期発見、早期支援・対応に重点をおいた体制づくりが重要である。
- ④ 事案が発生した時点から事案の改善・回復、再発防止まで一貫した支援に重点をおいた体制づくりが重要である。
- ⑤ 地域における活動（コミュニティ・スクールや地域学校協働本部など）が不登校、いじめ等の未然防止、早期発見及び支援・対応に資することがある。

第22問題 島根県教育委員会では、「島根県いじめ防止基本方針～しまねの子どもの絆づくりをめざして～」(平成30年5月15日一部改訂)を作成した。そこで述べられている「いじめの防止等に関する措置」の内容についての組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

22

いじめの防止————ア

早期発見————イ

いじめに対する措置————ウ

- A 児童生徒や保護者の悩みを積極的に受け止めることのできる相談窓口の整備
- B いじめ防止対策委員会等の組織への報告と情報共有
- C 学校の教育活動全体を通じた人権教育や道徳教育の充実

ア イ ウ

- ① A B C
- ② A C B
- ③ B A C
- ④ B C A
- ⑤ C A B